

行財政改革実施計画・行動計画票

[平成 20 年 7 月 11 日 提出]

No.	58							
基本方針	2 人材の育成					担当課名	総務課(職員班)	
重点項目	4 新たな人事管理のあり方の検討							
取組項目	49 人事管理システムの構築							
経過・現状 (H17.4.1現在)	・合併前までの人事異動履歴についてはエクセルデータを所有している。 ・年度末に職員アンケート実施。							
推進スケジュール	H17 調査	H18	H19 検討	H20	H21	目標年次	平成 23 年度 (一部実施)	
実績評価	A 計画どおり	A 計画どおり	A 計画どおり	- -	- -	達成年次	平成 - 年度	
行動概要	目標	育成型ジョブローテーション・複線型人事制度の導入						
	期待される効果	・地方分権型社会に対応できる専門職員が育成される。 ・職員個々の能力・性質に合った人員配置が実現する。						
	必要性問題点	・先進事例について、調査研究する体制が整っていない。 ・客観的に公平な制度でなければならない。 ・職員の士気に影響を及ぼす恐れがあるため、十分な理解が必要である。						
	対象	全職員						
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計(0 千円)	
		17年度 (実績)	・情報収集及び調査を実施する。				目標 数値	
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)
		18年度 (実績)	・情報収集及び調査を実施する。				目標 数値	
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)
		19年度 (実績)	・育成型ジョブローテーション及び複線型人事制度の検討				目標 数値	
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
	20年度	・育成型ジョブローテーション及び複線型人事制度の検討				目標 数値		
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
	21年度	・育成型ジョブローテーション及び複線型人事制度の検討				目標 数値		
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
関係例規等	名称					改正時期		